

いただきます

いただきます



さあ、給食の時間です。

「いただきます」

今日もみんなで元気よくあいさつをして食べ始めました。

ところでみんなは、どうして「いただきます」というのか知っていますか。

「いただきます」という言葉はどのようにして生まれてきたのでしょうか。



昔は、人から何かもらったとき、
「ありがとう」という気持ちと「大切にします」という気持ちをこめて、もらったものを頭の上に乗せるようなしぐさをしました。
また、神様にお供えしたものを下げるときも、「大切にします」という意味を込めて、頭の上の方から下げて受取りました。

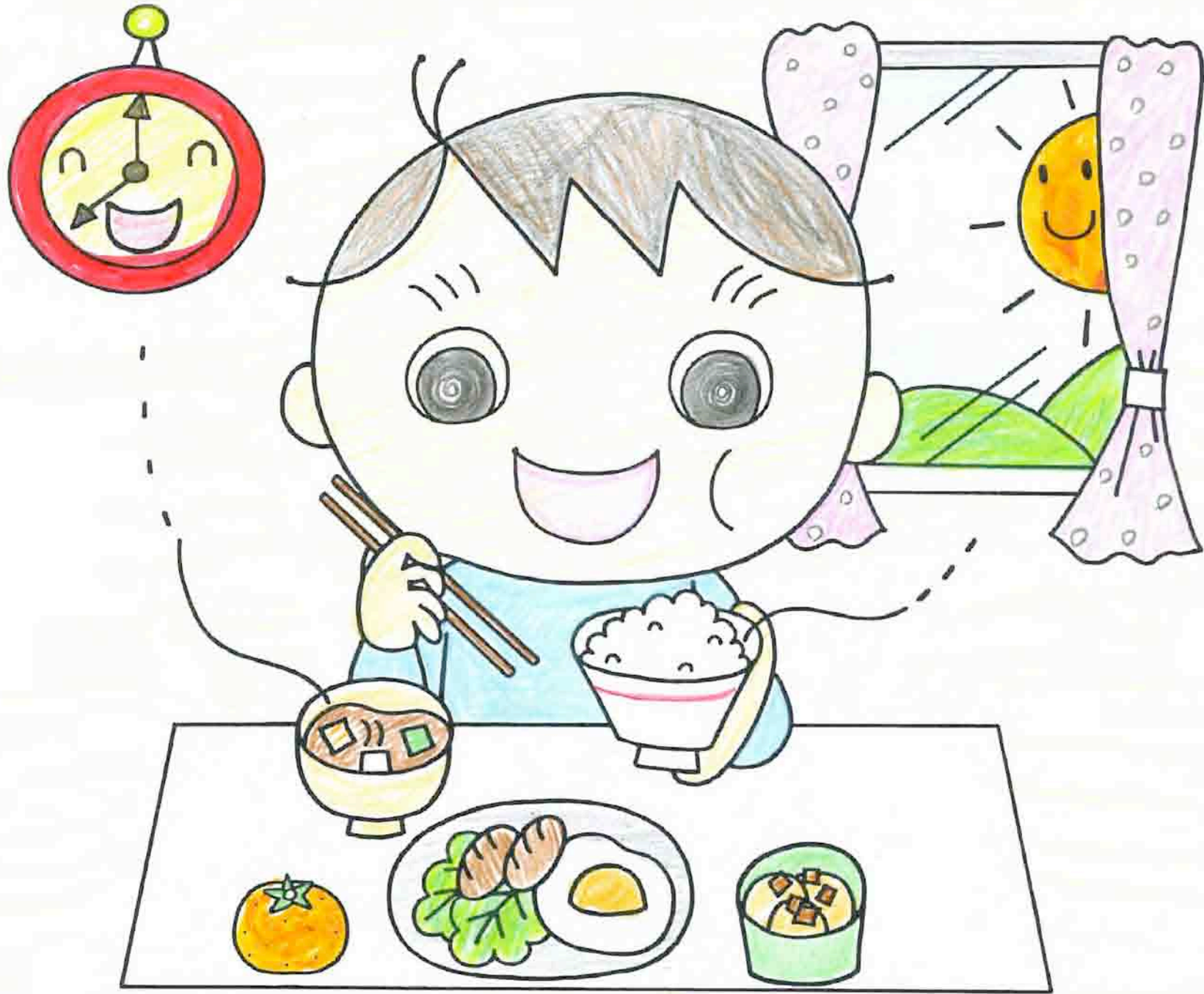
い ただ き

い ただ
頂 き

い ただ
戴 き

「いただきます」という言葉の「いただき」は漢字で左側の「頂き」または右側の「戴き」と書きます。
この漢字には「頭の上にものをのせる」という意味があります。
また、「いただく」は他人からものをもらうときのていねいな言い方です。

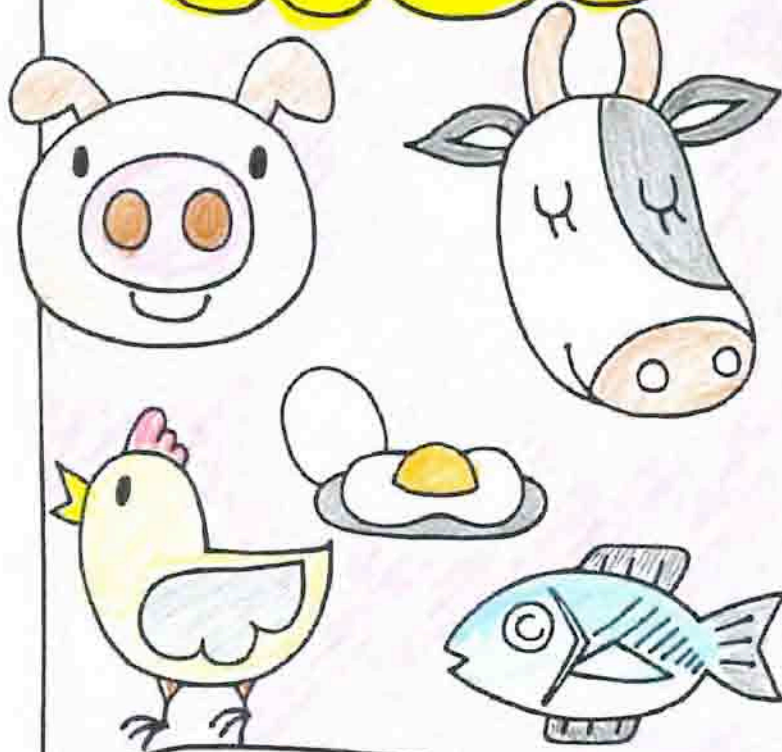
では、この「いただきます」のあいさつにはどのような思いがこめられているのでしょうか？



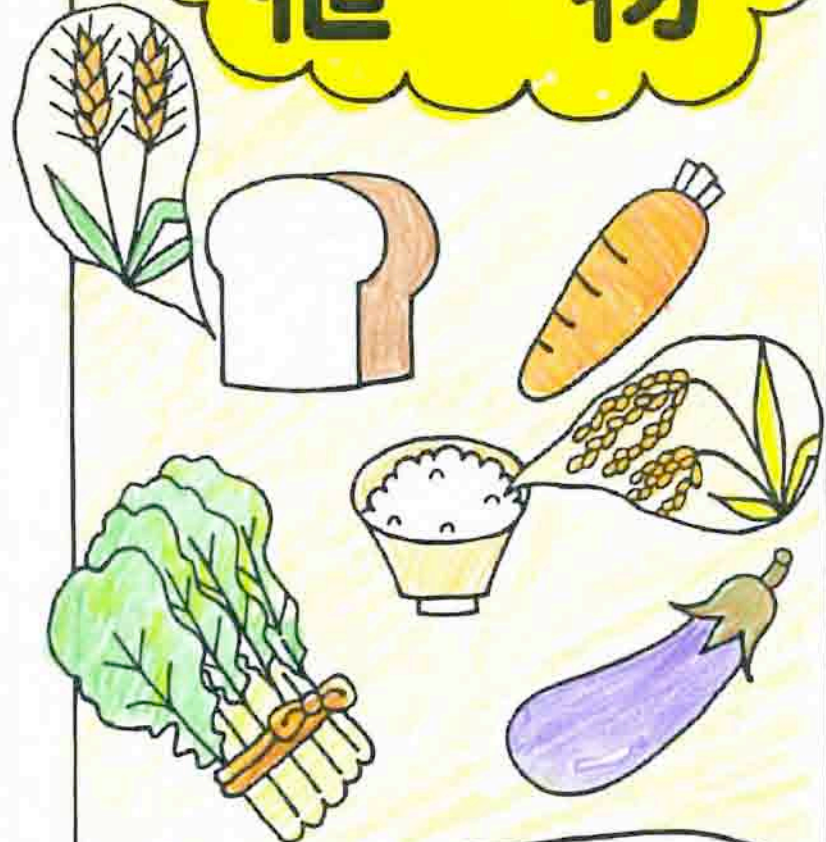
私たちは食べないと生きていくことができません。

みんなは、お米を食べたり、牛や豚などの肉を食べたり、魚を食べたり、野菜を食べていますね。

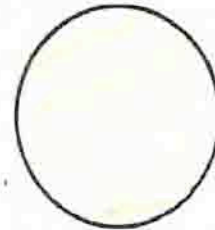
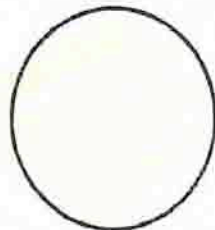
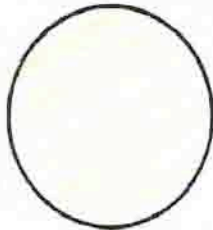
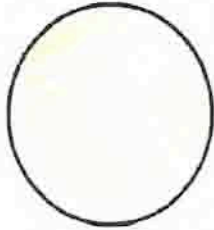
どうぶつ
動物



しょくぶつ
植物



ご



ま

牛や豚などの動物、お米や野菜などの植物には命があります。

つまり、私たちは動物や植物の命をいただいて生きているのです。

「いただきます」という言葉は私たちの食べ物になってくれたものすべてに対して「ありがとう」という気持ちを込めて言う言葉なのです。

では、食べ終わった後、みんなはどんなあいさつしますか。

そう、「ごちそうさま」ですね。

では、「ごちそうさま」という言葉はどういうようにして生まれたのでしょうか。



私たちが給食を食べるまでには、たくさんの方が一生懸命に働いて、食べ物を作ったり、用意してくれます。

食べ物を育ててくれる農家の人、

魚を捕ってくれる漁師さん、

牛や豚の世話をしてくれる酪農家の人、

食べ物をみんなの町まではこんでくれる人、

それから食べ物をきれいに並べて元気の良い掛け声で売るお店の人もあります。

そして、・・・



忘れてはいけません。

毎日、みんなの身体のことを考えて、おいしくて栄養いっぱいの給食のメニューを考える栄養教諭(学校栄養職員)の先生、そして、大きな大きな鍋で一生懸命に作ってくれる調理員さんもいます。そしてできた給食を1人ひとりに配ってくれる給食当番さんです。

ご ち そ う さ ま



ち
馳

そう
走



ご
御

さま
様



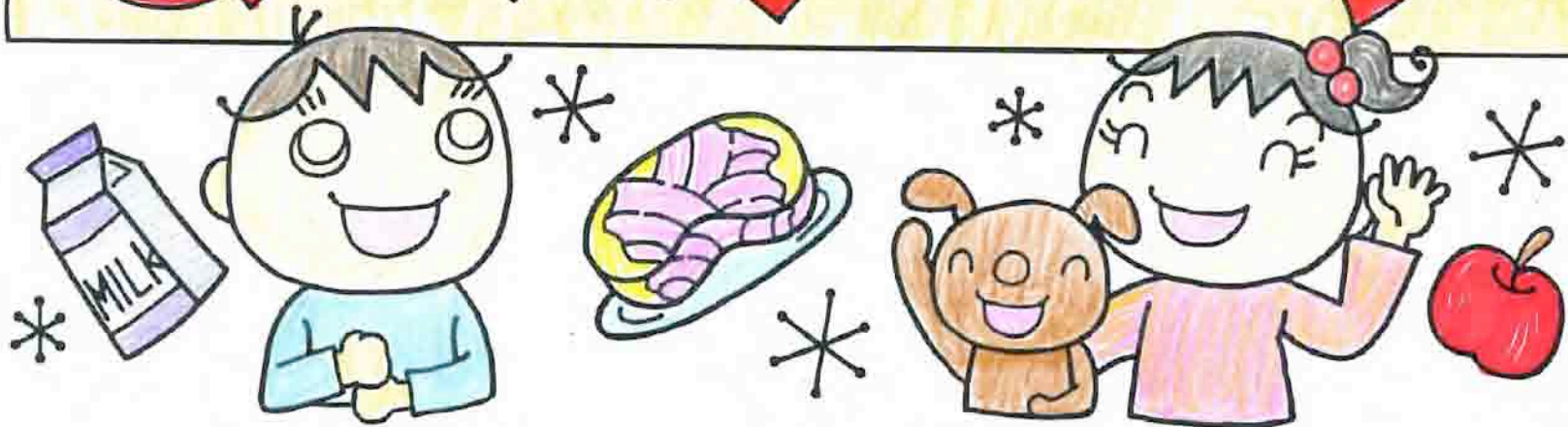
「ごちそうさま」は漢字で書くと「ご馳走様」とかきます。

「馳走」は「走り回る」という意味があります。

私たちが給食を食べるために一生懸命に走り回ってくれた人、つまり「馳走」してくれた人に「ありがとう」という気持ちをこめて、「馳走」に「御」という字と「おかげさま」の「さま」が付き、「ごちそうさま」という言葉が生まれたのです。



ありがとう



「いただきます」には私たちに命をくれた動物や植物などへの「ありがとう」の気持ち、
「ごちそうさま」には私たちが食事をするために一生懸命に働いてくれた人たちへの「ありがとう」の気持ちがこめられています。
食事をするときは感謝の気持ちをこめて必ず「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをして、残さず食べることを心がけましょう。